

# ひゅーまんらいつ



## えがお 愛顔の学校をつくるために

～「えがおの愛媛 愛顔の学校 いじめ STOP!ブック」より～

誰もがいじめが悪いってことはわかっています。それではなぜ起きてしまうのでしょうか？  
その「なぜ」を探って、ある高校生が語り合いました。

何がいじめなんだと思う？

私は、「いじめ」と人を「いじる」ことの違いの捉え方が、人によって違うと思うので、その違いってどうなんだろうなと思っていて。テレビでも芸能人が誰かをいじるっていうことがあるし、学校でもそういうことをよく見かけることがある。それで相手が嫌がってるかって言ったら、それで楽しむっていうか、そういう人もおるし。でも実際、中学校でそういうことがあって、その子にとっては嫌だったっていうことが分かってクラスで問題になったことがあったので。その境界線が分かりにくいなあって思う。

いじめといじりの境界線ね。いじりがいじめに発展したからクラスで問題になったの？

する側としては、普通に楽しくというか。される側は、避けられてるわけでもなく、一緒におる子の中で、いじられキャラみたいな感じになっとった。その子も笑いよったけど実は辛くって、先生に相談して、みたいな。

笑ってるけど心の中では辛かった…。いじめが怖いのは、いじめる側は何年かたったら忘れるかもしれんけど、やられた側はそれで人生が変わったりする。そういうところが怖い。

いじられるキャラの人が周りの人に「面白いからこれやって」とか言われてたことがあって。私はそばでみてたら強要しているように見えた。グループで面白がっている人たちにとってはただの遊びみたいな感じだったんで、されてる本人がどう思ったのかは私もわからないけど。そこでちょっと嫌がってるんじゃないっていう感じで止められたら、それはなくなるんじゃないかなと思う。最初はそこまで強要してるっていうのじゃなくて、ただ面白半分ですてるんだけど、この子だったらいいじゃんっていうふうに思ってきたら結構ひどくなるんじゃないかな。

いじめっていつが多いのかな。

私は時期は関係ないと思う。いじめはダメってみんなどこかで思ってるけど、いじめがないことが当たり前じゃなくて、いじめじゃなくても、嫌がらせとかでもあるのが当たり前みたいな世界っていうか。そういうふうに、高校生だったらあるよねーって感じにとらえてしまうんで。そう思ったらいじめをなくそうと行動しようとしても、自分はおかしいことしてるみたいな気になるんで。意識というか、いじめがあるのが当たり前っていう考えをなくせたら、いじめはなくなると思う。

いじめは、ちょっとしたきっかけで起きてしまいます。それなら、ちょっとした行動で、いじめのない毎日がつくれるのではないのでしょうか？あなたはどんな“ちょっとした行動”ができますか？

## <第3回人権同和教育 HR 活動>

1月17日、3年生で第3回人権・同和教育HR活動が行われました。感想をご覧ください。

3年生「人権問題を解決するためにⅢ ～これからの生き方を考える～」

高校生活で最後の人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。3年間の学習の振り返りを行い、当時高校生だった方が作詞した「夜明け」の詩をもとに、社会に出てからの生き方を考えました。3年間の学びが詰まった思い出深い1時間となりました。



- 3年間で、様々な人権問題にたくさん取り組んできたんだと感じた。どの授業も印象に残っていて、全部意味のある活動だった。たくさん増えた知識はこれから人権問題に直面したとき、生かすことができると思う。みんなの人権宣言もよかった。
- 3年間の学びを振り返り、改めて、多くの学習をしてきて、それだけ学ぶ機会があったことに気付いた。そして、そこから理解を持ち、意識していくことで「夜明け」に近づくのではないかと思った。みんなのキーワードを見て、人権宣言でもあり、人としての生き方も反映されているように感じ、これからの何十年もずっと繋がっていくことだと思った。

## <アンネのバラの挿し木に向けて…>

1月31日、3年生がアンネのバラの手入れを行いました。今年度、初めて挑戦した挿し木で無事に育ったものは4本。今年はさらなる成功を目指して、まずは葉やつぼみをきれいに取り除き、根本周辺もきれいにしました。1、2年生で今月中に挿し木のリベンジをしたいと思います。

また、8月に南宇和高校さんに1本引き継ぎましたが、残りの3本が宇和高校さんに引き継いでもらえることが決定しました！今月中にオンライン交流をして、旅立つ予定です！

